



岩国支部の取組について

支部長リレー No.8

H28 支部創生

山口県日本型直接支払推進協議会

(岩国農林事務所 農村整備部長)

たかしま かずゆき

岩国支部長 高島 一幸



1 支部の取組状況

多面的機能支払は、新たに 50ha、4 組織が取組みを始めたことにより微増となりました。

中山間直支払は、第 4 期の開始にあたり、今後 5 年間の活動継続に対する不安から、大幅な減となりました。

	組織・協定数	取組面積	割合(%) ※	対前年比(%)
多面的機能支払交付金	36	69,300a	24 (46)	108
中山間地域等直接支払交付金	66	68,400a	40 (59)	90

※農振農用地に対して取組が実施されている割合。()は、県内取組割合。

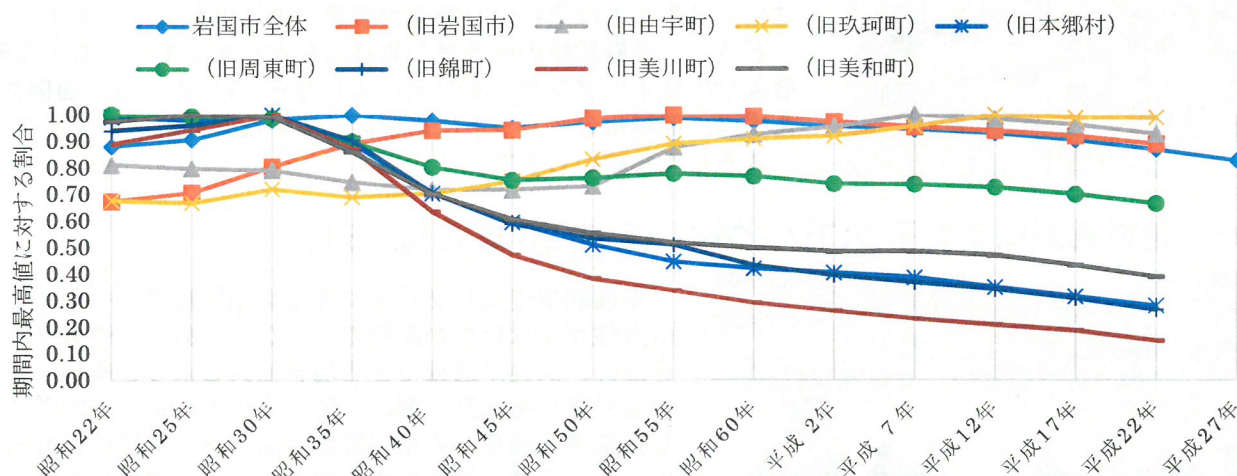
2 人口減少社会に向けて

農村地域において、戦後は、主産業の農業を中心として、地域で話し合いや、共同活動が行われてきたが、農業者の減少により、構成員の確保やコミュニティーの維持が困難となっている。

岩国市内の人口の推移は、下のグラフのとおり岩国市平均を下回る減少率となっているのは、旧岩国市、旧由宇町、旧玖珂町であり、特に玖北地区では、4 割を下回っており、この傾向は、平成 27 年度速報値(市全体)から推定すると、平成 22 年度より加速しているものと思われる。

地方創生が叫ばれている中、少しでも早く、人口減少社会に向けた取組を始める必要がある。そのためには、地域のことを熟知している地域住民での話し合いによる合意の基、対策を決めることが重要と考える。こうした取組の基礎ともいえる、コミュニティーの活性化に向け、多面的機能支払や中山間地域等直接支払制度取組エリアの拡大に取り組んで参りたい。

岩国市内人口の推移



● 「10万本のシバザクラ」 中国四国農政局長最優秀賞 向道環境保全会(周南市) こうどう

このことにつきましては、先月号でもお知らせしたところですが NHK「情報維新!やまぐち」、KRY「ニュースライブ」及び山口新聞等、数多くのマスコミに取り上げられました。

井上正幸(いのうえまさゆき)代表は、インタビューの中で「今後は、通年花が楽しめる里づくりや特産物の開発などをして、都市住民にも“農村の原風景”を味わっていただきたい」とおっしゃっていました。さらなる、関係者の皆様がたのご活躍をご祈念申し上げます。



中国四国農政局



周南市長室



推進協議会長室



意見交換会



多面的2 中山間2 環境保全2の組織代表



井上代表

● 県・市町担当者会議 ～広域化推進～ (平成28年2月23日)



平成27年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.8 (平成27年11月10日開催)において、テーマ「広域化組織への推進 ～1市1活動組織～」として基調講演をしていただいた新潟県見附市農林創生課の渡邊課長と椿係長に、再度来県いただき行政担当者(参加者60名)に広域化推進のノウハウをご講義頂きました。

この講義の中で、**広域化のポイント**は、

- ①行政主導による広域化
- ②地域に配慮した統一ルール
- ③加盟集落の自主性の尊重
- ④具体的なメリットの提供が必要であるとお話されました。

今後、将来に向けて多面的機能支払交付金における「活動組織の広域化」は避けては通れない喫緊の課題であると考えています。

どうか、活動組織の関係者の皆様におかれましては、県・市町担当者より広域化のアプローチがありましたら、「いまさら、面倒だ」と考えずに、広域化のメリットに耳を傾けていただければ幸いです。

よろしくお願いします。

● 地域資源保全女子プロジェクト (平成28年2月26日)



多面的機能支払交付金に係る活動組織のリーダーや役員には女性が少ないのが実態です。このため、女性の活躍の機運を高め、女性が活躍できる場を拡大しようと農林水産省多面的機能支払推進室 柵木 環(ませぎたまえ)室長を座長とした意見交換会が中国四国農政局において開催されました。山口県からは、周南市大道理ほたる工房の秋貞啓子代表が設立や運営のご苦労話等をお話しされました。

最後に、柵木室長から「女性がより活躍できる環境整備を図っていくので、女性のもつ潜在力を躍動させてほしい」と激励の言葉がありました。